

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社
住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F
電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682
作成 2004年 5月31日
改訂 2004年 8月21日

整理番号：

製品名 V I T A L E T

物質の特定 単一製品・混合物の区別
：混合物

化学名： [1] N-(2-カルボキシエチル)-N-ドデシルーベーターアラニンと3,4-ジヒドロ-2,5,7,8-テトラメチル-2-(4,8,12-トリメチルトリデシル)-2H-1-ベンゾピラン-6-イルジヒドロゲンホスフェートとの重合体(1:1)
[2] N-(2-カルボキシエチル)-N-ドデシルーベーターアラニンとビス[3,4-ジヒドロ-2,5,7,8-テトラメチル-2-(4,8,12-トリメチルトリデシル)-2H-1-ベンゾピラン-6-イル]ジヒドロゲンホスフェートとの重合体(1:1)のエマルジョン

含有量： 40 %

化学式： [1] $C_{47}H_{84}NNa_2O_9P$
[2] $C_{76}H_{134}NNa_2O_{10}P$

官報公示整理番号： 化審法・安衛法
[1] 新規化学物質
[2] 新規化学物質

CAS No.： [1] 425429-22-7
[2] 486449-86-9

国連分類及び国連番号： 非該当
P R T R法： 非該当
安衛法通知対象物質： 非該当

危険有害性の分類 分類の名称：分類基準に該当しない

危険性：
有害性：
環境影響：

応急措置

眼に入った場合： 多量の流水で洗眼する。
皮膚に触れた場合： 水及び石鹼で洗い流す。
吸入した場合： 吸入による有害性は少ないので、特別な処置は必要ない。
過剰な粉塵やミストに曝されたのであれば、空気の新鮮な場所に移し、咳や他の症状がひどくなるようであれば医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合： 吐かせてはいけない。ゆっくり1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない

い。

火災時の措置

消火方法：

(1) 周辺火災の場合

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し消火する。

(2) 着火した場合

火元への燃料源を断ち、消火剤を使用して消火する。

スプレー水で火災に曝露されている表面を冷やす。

消火作業は風上から行い、消火を行う人は場合によって呼吸保護具を着用する。

消火剤：噴霧水、泡（耐アルコール）、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

(1) 保護具を着用し、風上から作業する。

(2) 下水等に入り込まないように注意する。

(3) 漏れた液は砂などで囲みビニールシート等で覆い、蒸気の発生を抑えながら回収する。

(4) 関係箇所に通報し、応援を求める。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：(1) 皮膚接触を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用して作業する。

(2) 取り扱い後は手洗いを十分に行う。

保管：(1) 直射日光を避け、乾燥した涼しい場所に保管し、使用しない時は容器は密封して保管する。

(2) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。

(3) 収納した容器を貯蔵するときは地震等で容器が容易に転落、転倒し又は他の落下物により損傷を受けないようにする。

暴露防止措置

管理濃度：なし

許容濃度：日本産業衛生学会勧告値（2003年版）

時間荷重平均：未設定

ACGIH(2003)勧告値

時間加重平均(TWA)：未設定

設備対策：蒸気の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具：保護マスク、保護眼鏡、保護手袋等

その他の衛生上の予防措置

(1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

(2) 健康診断を定期的の実施する。

(3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

外観：黄褐色～褐色のエマルジョン

比重：1.04 (25)

沸点：決定できず

融点：決定できず

蒸気圧：決定できず

蒸気比重：データなし

溶解度：決定できず

その他：pH = 5～7(30%溶液)

危険性情報（安定性、反応性）

引火点	:	決定できず
発火点	:	データなし
爆発範囲	:	データなし
反応性	:	一般的取扱い、貯蔵の条件では安定。
自己反応性	:	特になし

熱分解すると毒性の蒸気 CO_x, NO_x が放出される。

有害性情報¹⁾

刺激性：	皮膚	ウサギ	刺激性なし(100%原体)
	皮膚	ヒト RIPT	刺激性なし(5%原体)
	眼	ウサギ	刺激性なし(100%原体)
感作性：	モルモット		感作性なし(7.5%原体)
	ヒト RIPT		感作性なし(5%原体)
急性毒性：	経口	ラット	LD ₅₀ 2,000 mg/kg 以上(100%原体)
	経皮	ウサギ	LD ₅₀ 2,000 mg/kg 以上(100%原体)
亜急性及び慢性毒性：			データなし
変異原性：			データなし
発がん性：			データなし
催奇形性及び生殖性：			データなし
代謝・排泄：			データなし
その他	光毒性：		目に見える皮膚反応なし(5%原体)
	光アレルギー性：		光アレルギーは生じない(5%原体)

環境影響情報

生分解性：	データなし
生態影響：	環境に悪影響を与えるデータなし

廃棄上の注意

- (1) 空容器であっても、内容物が残留していることがあるので取扱いには注意する。
- (2) 空の小型容器は栓を固く締め、空容器であることを表示する。
- (3) 容器を修理又は廃棄する場合は、液抜きした後、水洗又はスチーム洗浄を行い有機物を完全に除去した後に行う。
- (4) 廃液、高温度排水、スラッジなどは、そのまま又は易燃性溶剤とともに、少量ずつ焼却炉に噴射して焼却処理するか、又は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
焼却処理の場合は、有害ガス(NO_x, CO_x等)が発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を講ずる。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 輸送前に容器が密封されているか、又は液漏れがないかを確認する。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な衝物を詰めていく。

主な適用法規

特になし

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常の手理を対象としたものであって、特別な手理をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、手理には細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

参考文献

- 1) ISP Safety Data Sheet 04/01/2004